

第17回政策推進会議報告

日 時 12月3日 9時30分～10時16分
場 所 4-1会議室
出席者 19人

1 提案型事業委託制度（素案）について

市民協働局長から資料に基づき説明。（以下、質疑等）

（市長）いくつかの自治体が先行して実施しているが、その方法や状況は様々である。本市はアウトソーシングが進んでいる方であり、その内容をより充実させるものであるが、実施後に改善点も多く出ると思う。各局ともぜひ前向きに、一緒に作り上げようという気持ちで取り組んでもらいたい。

2 平成24年度尼崎市立小・中学校の学力・生活実態調査報告について

教育長から資料に基づき説明。（以下、質疑等）

（市長）本市が過去から独自に調査してきた部分も含めて、調査内容の成果が上がってきたのではないと思われる。本市の学力向上の取り組みとして行われている学力向上クリエイイト事業は、内容を組み替えながら実施してきており、目に見えた効果として表れ難いが、辛抱強く取り組んできている。この調査結果を踏まえた改善点を学力向上クリエイイト事業に組み込むと同時に、そうしたことをPRすれば、保護者にも分かりやすいのではないか。事業名称が変わっておらず、内容がどのように変化しているのか分かり難いので、金額の増減だけでなく、その内容についても発信してもらいたい。

各学校だよりを活用することなどにより、その学校の課題だけでなく、取り組みについても報告することになっている。

3 その他

- ・都市整備局長から、気仙沼市における「花のまちあまがさきチューリップ運動」の取り組みに関して報告。
- ・経済環境局長から、大阪市における震災がれきの試験焼却について報告。（以下、質疑等）
 - ・11月29日、30日に舞洲工場で実施されたので、その約3km地点となるクリーンセンター第2工場で空気中の放射線量を計測したところ、ホームページで定期的に報告している大気中の放射線量が0.06～0.07 μ svであるのに対し、クリーンセンターでは0.07～0.08 μ svであり、焼却期間中の影響はなく、人体に影響はないものと考えるが、一週間程度は計測を続ける。また、本格焼却を実施するときにも計測するつもりである。
- ・企画財政局長から、12月3日から9日まで本市への定住促進策を放送しているケーブルテレビの市政広報番組「たうんタウンあまがさき」について報告。

以上